

あけましておめでとうございます

6



恒川 NEWS



炭化米の科学分析をします

10月から始まった95次確認調査も3か月を過ぎました。朝の現場には霜が降り、地面も凍り付き、冬の寒さを一段と感じます。

今回は発掘調査で出土した炭化米を、『放射性炭素年代測定』という方法で科学分析をすることについて紹介します。

『放射性炭素年代測定』とは？

『放射性炭素年代測定』とは、骨や炭化物、木製品などのサンプルに残っている放射性炭素(C^{14})の割合により、その生き物が死んでしまった後どのくらい時間が経っているのかを示し、「その生き物がいつ生きていたのか」を測定する科学分析方法です。



年代測定の原理



炭化米(糯状のもの)

名古屋大学 宇宙地球環境研究所 年代測定研究部HPより引用

今回のサンプルは93次調査で出土した炭化米です。もみつぶ 糲粒状のものと 糲状[※]のもの2種類が出土しており、これらがいつ頃のものなのかを調べます。また、同時に炭化米の種類も分析してもらう予定です。結果はどのようになるでしょうか…？しかし、結果が出ても安心はできません。分析結果はあくまでも「いつ生産されたのか」であり、「いつ使われたのか」ではないので、この分析結果から使用時の状況などをさらに検討していきます。

※糲とは…乾(干)飯。つまり干して乾燥させたご飯のこと。備蓄食料や携帯食糧に最適で、水やお湯などで柔らかく戻してから食す。

現在実施中の確認調査では、47・49次確認調査地点を再び掘り、前回出土した正倉院の区画溝の位置を改めて把握し、より正確な溝の範囲と、溝の作り替えが行われているかを確認できるように作業を進めています。



調査で確認された正倉院の区画溝

こんな土器も出土
しています。



2種類の古墳時代(1500年ほど前)の土器

ケータイ電話、スマートフォン、タブレットなどでQRコードを読み取ると、文化財保護いいたのホームページにアクセスすることができます。



発掘調査を行うにあたり、近隣の皆様にはご不便およびご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。



史跡恒川官衙遺跡調査速報 6(通算No.6)

平成30年1月11日発行

調査担当者：坂井勇雄・福井優希

飯田市教育委員会

生涯学習・スポーツ課 文化財活用係

TEL：0265-22-4511（内線：3752）

FAX：0265-22-7969

E-MAIL：bunkazai@city.iida.nagano.jp